

日 程：令和7年11月9日(日)～13日(木) 計5回
場 所：前橋元気プラザ21 5階 501・502会議室

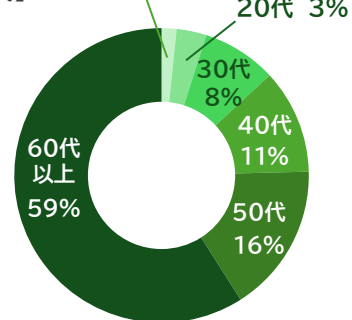
説明内容

- ・前橋クリエイティブシティ構想の概要・目的
- ・都市空間デザイン【稜線がつなぐ まちづくり_前橋リッジライン】
- ・これまでの取組と今後の予定

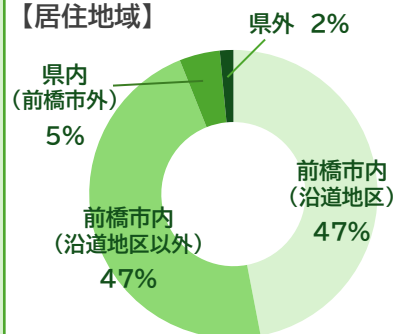
日時	9日		10日	11日	13日	計
	10:00～	15:00～	19:00～	14:00～	19:00～	
参加人数	17人	12人	15人	31人	22人	97人



【年代】 10代以下 2% 20代 3%



【居住地域】



主な質問・意見

事業費・事業期間について

【質問】構想全体・五差路の整備費用はどうか？また、完成時期はいつ頃か？

【回答】国際コンペ提案時の上限額は、道路60億円、県民広場10億円、計70億円です。60億円には五差路の改良は含んでおらず、事業費は現時点では未定です。コンペでは、2040年の社会情勢を見据えた都市空間デザインの提案を募っていますが、完成時期は決定しておらず、現在進めている基本設計の中で、整備工程も含め検討しています。

構想の背景・考え方について

【質問】人で賑わうことが構想の目的だと思うが、どのような人をターゲットにしているのか？

【回答】街なかの定住人口自体を増やしながら、休日は街なか以外からも多くの方が訪れ、賑わうまちづくりを目指しています。

【質問】メインストリートにはどのように来たらよいのか？駐車場が少なく、公共交通も不便である。

【回答】本構想は公共交通を中心とした取組であり、駐車場のあり方や公共交通の利便性向上などについても併せて検討していきます。

【意見】高校の移転や商業施設の郊外化などが進み、中心市街地が衰退した。街なかには人が集まる魅力的な施設が必要である。

【質問】車社会の前橋で、公共交通と人中心の空間にするこの構想は実現性が低いのではないか。

【回答】人口減少や少子高齢化などの社会的課題に対応するためには、車中心ではなく、人を中心に考え、誰もが安心して快適に移動できる道路空間づくりに取り組む必要があると考えています。

計画内容について

【質問】沿道の住宅・店舗からトランジットモールへの出入りや配送車両の荷捌き等はどうなるのか？

【回答】今後、沿道の関係者と協議しながら、丁寧に調整を進めます。

【質問】トランジットモールと交差する道路は、車が横断できるのか？

【回答】大手町二丁目、本町一丁目、本町二丁目交差点は横断可能とする方針で検討を進めています。

【意見】こどもたちや歩行者に安全な道路空間としてほしい。夜間の安全対策もお願いしたい。

構想の進め方について

【意見】道路空間の継続的な維持管理や賑わいの創出には、民間事業者と連携した運営組織などの立ち上げが必要である。

